する報酬はそれ自体として別の角度から算定し，適切な額を支払うべきであるというのがわれわれの基本的な考え方である．

この基本的な考え方にもとづいて，農業水利権団体を単に補償を支払う対象としての団体ではなく，ともに共同事業を行なうプレイヤーの1人として加えたことが，このモデルの特徴になっている．これはいわば都市と農村との連帯にもとづく共同事業という発想にもとづいているといってもよい．仁という配分を実現するためには，関係する主体が全体として協力関係にあるということが前提となっていることも，都市と農村とが連帯し，すべてがプレイヤーとしてゲームに参加し，かつすべてのプレイヤーが1つの共同事業の参加者としてこの共同事業を成功させようとしたとき，仁は現実に実現可能な解となるということができる．

なお参考文献2)3)で，われわれの考え方にもとづくケース・スタディを行なっている．

参考文献

1) 鈴木光男：計画の倫理，東洋経済新報社，1975

2) 鈴木光男，中村健二郎：社会システム，共立出版社，1976

3) M. Suzuki, M. Nakayama ; The Cost Assignment of the Cooperative Water Resource Development ; Management Science, June 1976

すずき・みつお　1928年生　東京工大理学部教授
1952年東北大学経済学部卒　経済学博士
東北大学経済学部講師，プリンストン大学リサーチ・アソシエート，東京工大工学部助教授，教授を経て現職．
専攻：ゲームの理論

論文投稿のおすすめ

ご承知のように，本学会の論文誌は，従来，英文誌と和文誌の2本立てでしたが，本年度からはそれらを統合し，英文名を Journal of the Operation Research Society of Japan，和文名を「日本オペレーションズ・リサーチ学会論文誌」として新発足いたしました．

と同時に，判型もB5判として従来の英文誌より大きくし，ページ数も約100ページと倍増いたしました．このため，掲載論文数は倍以上にふえ，いままで滞っていた論文もほとんどなくなりました．現在の審査状況はつぎのとおりです．

〔英文論文〕 採択決定　7編，　審査中　10編，
訂正依頼中　9篇

〔和文論文〕 採択決定　2篇，　審査中　6篇，
訂正依頼中　5篇

きたる6月15日に発行を予定しております No. 2には，英文論文の採択決定7篇はすべて掲載されます．従来は掲載待ちの状態が長く，どうせ投稿してもなかなかのらないから，ということで，他の学術誌に掲載を希望された会員も多かったようにうかがっておりますが，このような悪い状況は一掃されました．今後は審査さえ通れば，かなり早い機会に掲載されるとお考えくださって結構です．

以上のような状況ですので，いますぐにご投稿されたといたしますと，審査の進行如何では英・和文とも今年中に掲載されうることが十分に予想されます．どうか，ふるってご投稿ください．

論文誌の編集体制について

論文誌の編集方針や審査の進行については直接の責任を editor が負い，associate editor とともに具体的な処理を担当いたします．そしてその際，全国各地におられる advisory board のメンバーの助言を仰ぎます．会員各位で論文誌に対してご意見やご希望をおもちの方は編集委員会またはこれらの担当者にご連絡ください．

本年度はつぎの方々に以上の役をお願いしています

editor　渡辺　浩(筑波大・社会工学系)
associate editor　高森　寛(青山学院大・経)
〃　梅沢　豊(東大・経)

advisory board

青木兼一(広島大・工)	古川長太(九大・理)
出居　茂(早大・シ研)	伊理正夫(東大・工)
松田武彦(東工大)	三根　久(京大・工)
宮川公男(一橋大)	本告光男(中部電力)
西田俊夫(阪大・工)	斉藤嘉博(NHK)
佐々木綱(京大・工)	千住鎮雄(慶応大・工)
司馬正次(筑波大・社工)	竹内　清(東北大・経)

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．